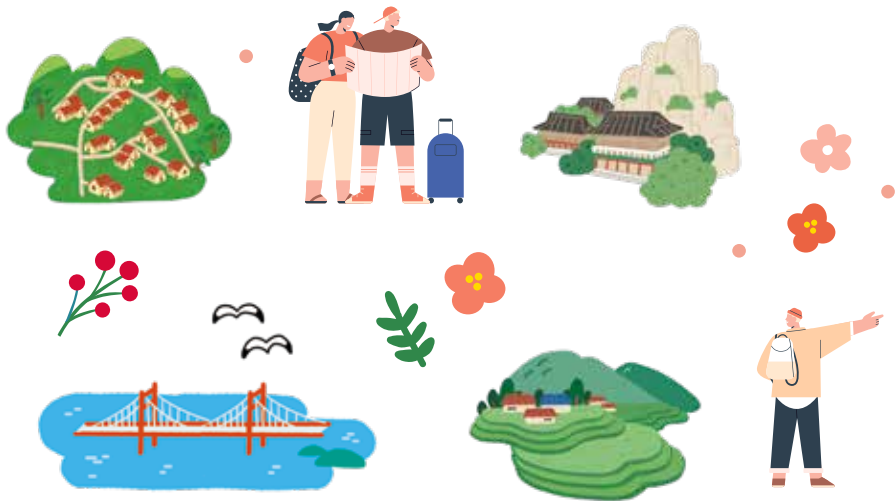




ここ、南海で休止符を打つ。

今ここに、愛

南海#



今ここに、愛 南海#

南海へのアクセス	4
ドイツ村	5
加川(カチョン)タレンイ村	6
錦山菩提庵(クムサン・ボリアム)	7
尚州(サンジュ)ウンモレビーチ	8
国立南海(ナムヘ)ヒノキ自然休養林	9
李舜臣(イ・スンシン)殉国公園	10
南海(ナムヘ)パレ道	11
雪里(ソルリ)スカイウォーク	12
ソミ庭園	13
石倉庫(トルチャンコ)プロジェクト	14
その他の観光スポット	15
南海(ナムヘ)の祭り	18
南海郡(ナムヘグン)観光文化財団	19



宝島、南海(ナムヘ)

南海郡(ナムヘグン)は、韓半島の南海沿岸の中央に位置する南海島(ナムヘド)と昌善島(チャンソンド)という2つの大きな島を中心に、5つの有人島と73の無人島からなっています。人口は約4万2千人です。本島である南海島は、済州島(チェジュド)、巨済島(コジェド)、珍島(チンド)、江華島(カンファド)に続いて韓国で5番目に大きな島です。冬は暖かく夏は涼しいという気候は旅行に最適で、海に散りばめられた島々、大小さまざまな山、美しい海岸線など風光明媚な自然景観が広がり、興味深い物語が伝わる魅力あふれる観光名所が宝物のように存在していて、「宝島、南海」とも呼ばれています。





南海へのアクセス ようこそ



2 昌善・三千浦大橋 (チャンソン・サムチョンボデギョ)

総延長3.4kmに及ぶ昌善・三千浦大橋は、韓国初の島と島をつなぐ橋です。南海(ナムヘ)の昌善島(チャンソン)と三千浦(サムチョンボ)の間にある3つの島をつなぐ5つの橋がまるで橋の博物館を彷彿とさせる、世界的にも珍しい観光名所です。



3 南海・麗水(ナムヘ・ヨス) 海底トンネル(予定)

南海郡(ナムヘグン)は、海底トンネルの開通により韓半島の南端ではなく、嶺南(ヨンナム)地域と湖南(ホナム)地域をつなぐハブ、そして南海岸観光のプラットフォームとなる予定です。海底トンネルの開通後は、南海を拠点に自由な往来が可能になります。



1 南海大橋(ナムヘデギョ) & 鷺梁大橋(ノリヤンデギョ)

1973年に開通した南海大橋は、陸と切り離されていた南海島と陸をつないだ韓国初のつり橋で、韓国で最も美しい橋と言われています。鷺梁大橋は、南海大橋に代わる橋として2018年に開通しました。世界初の傾斜主塔や3Dケーブル方式など最先端の技術が採用されています。

韓国観光
100選に選定

1

パスポートなしでも楽しめるドイツへの旅

ドイツ村



ドイツ村は、かつてドイツで働き、韓国の経済発展に大きく貢献した海外の同胞たちが老後に帰国して定着した場所です。彼らは実際に暮らしていたドイツの村を再現することを目標に、「韓国の中の小さなドイツ」を創り出しました。2003年に完成して以来、ドイツ村の家々の白い壁とオレンジ色の屋根は南海(ナムヘ)を象徴する風景になりました。村からは海が見渡せ、手入れの行き届いた庭園、ドイツ風のレストラン、ドイツビールガーデン、ドイツ工房などが異国の雰囲気を醸し出しています。毎年10月にドイツ村の広場で開催される「ドイツ村ビール祭り」は、全国的にも有名な祭りになっています。南海派独展示館では、かつてドイツに派遣されていた鉱山労働者や看護師たちの生活に触れることができます。

一緒に
訪れた
い場所

園芸芸術村



園芸芸術村は、約20人の園芸人が築き上げた村で、個性的で美しい21棟の住宅や庭園がさまざまな国のイメージやテーマに応じて造られています。それぞれ個性豊かな園芸作品を観ることができます。彫刻の庭やトピアリーの庭など世界のさまざまな庭を歩きながら、ゆったりとした時間を過ごすことができます。

2

CNNに選ばれた韓国で訪れるべき場所、第3位 加川(カチョン)タレンイ村



青い海に面した斜面を開墾した棚田のタレンイ田(名勝第15号)と、島ならではの趣がある村で、もう一つの観光名所であるアムス岩を眺めることもできます。ペルーの高山地帯を連想させるタレンイ村の絵のような風景は、実は苦しみから生み出されたものです。傾斜が激しすぎてきちんとした田んぼを造ることができず、斜面に石垣を積んで108段を超える棚田を作り上げたのです。斜面に沿って村に降りるとごんまりとした家々の間を縫うように路地が走り、波が寄せては返す海岸の散策路もあります。

一緒に訪れたい場所

アナンティ南海(ナムヘ)



地中海を連想させる紺碧の海を背景に緑のグリーンが広がる18ホールゴルフ場は、幻想的な景観が魅力的です。150室規模のスイートルームリゾートと20棟のグランドヴィラでは、ゴルフ場や海を眺めながらゆったりとした時間を過ごすことができます。敷地内では、本やライフスタイルアイテムを取り扱うショップ、レストランなどを備えた複合文化空間「エターナル・ジャーニー」が営業しています。

3

ここでしか見られない荘厳な日の出 錦山菩提庵(クムサン・ボリアム)



さまざまな伝説が伝わる奇岩怪石が金剛山(クムガンサン)に似ていることから、小金剛(ソグムガン)または南海金剛(ナムヘグムガン)とも呼ばれています。高麗時代後期に太祖(テジョ)李成桂(イ・ソング)がここ錦山で100日間祈りを捧げた後、朝鮮を建国したと伝えられています。また、新羅時代に元暁(ウォンヒョ)大師が建立したとされる菩提庵(ボリアム)は、奇岩絶壁が連なる錦山の霊峰に佇んでいて、韓国の三大観音祈祷道場の一つとして知られています。菩提庵の観音菩薩に願いをすれば、一つ必ず叶うと言われています。韓国一の日の出スポットですが、錦山から日の出を見るためには3年間の修行が必要だとも言われていて、天候には細心の注意を払う必要があります。

一緒に訪れたい場所

アメリカ村



南海(ナムヘ)には、「アメリカ村」と名付けられた小さな村があります。韓国で老後を過ごしたいと思っている在米同胞たちのために造られた村で、米国風の木造住宅が建てられています。米国の伝統住宅を体験したいなら、アメリカ村のペンションがおすすめです。

4

きめの細かい銀色の砂浜に思い出を残す。

尚州(サンジュ)ウンモレビーチ



目の前に広がる小さな島々が海を囲んでまるで湖のようで、水温は暖かく波も穏やかで子供連れの観光客には最適な場所です。銀の粒のようにキラキラ光る砂浜はシルクのような肌触りで、海水は砂粒を数えられるほどに透き通っています。

シルクのような砂浜は、裸足で歩く人をくすぐるような柔らかさです。

海辺の裏手には松林が生い茂っていて、風情が漂っています。松林の奥にはキャンプ場のほか、レストランや個性豊かなカフェが軒を連ねていて、家族だけでなく友人同士やカップルにも人気の海辺です。

一緒に訪れた場所

松亭(ソンジョン)ソルバラム(松風)海辺



松亭ソルバラム海辺は、南国のような雰囲気漂う海水浴場です。

閑麗水道(ハンリョ水道)を望む海辺と緑豊かな松林が織りなす景色は圧巻の一言です。

海水浴場の周辺には、岩からなる海岸線と樹齢100年以上の海松の森が続いています。

5

癒しのひとときをお過ごしください。

国立南海(ナムヘ)ヒノキ自然休養林



国立自然休養林管理所が運営している休養林で、閑麗(ハンリョ)海上国立公園の北端に位置しています。1960年代に植林されたフィトンチッドを出すヒノキやスギが緑豊かに生い茂っていて、周辺の景観も素晴らしく、癒しの時間を過ごすには最適な森林浴場です。ペンションやキャンプ場なども備えていて、南海ならではの自然の癒しを求める人が多く、予約率は全国でも上位に入っています。森の解説プログラムは予約制となっていて、所要時間は約1時間です。

一緒に訪れた場所

南海(ナムヘ)羊牧場「ヤンマルトルの丘」



真っ白い羊の群れと幸せな時間を過ごすことができる場所です。羊に餌をやりながら触れることができ、羊たちを守る凛々しい姿の牧羊犬にも会えます。広々とした草原を駆け回る羊の群れにも出会える散策路や涼しい風が吹く溪谷では、のんびりとした時間を過ごすことができます。近くには、南海想像羊牧場「ヒノキの森」や南海羊牧場「ヤンモリ学校」もあります。

6

我が死を敵に知らせるな！

李舜臣(イ・スンシン)殉国公園



李舜臣將軍の最後の叫びが今にも聞こえてきそうな場所、李舜臣(イ・スンシン)殉国公園は、鷺梁(ノリャン)海戦で殉国した李舜臣將軍と水軍たちを称えるために建立されました。史跡第232号に指定されている南海観音浦(ナムヘ・グァンポ)李忠武公遺跡のほかにも、李舜臣上映館、護国広場、観音浦広場などがあり、歴史に興味のある人なら訪れるべき聖地であり、歴史の現場です。大きな広場や噴水などもあり、子供を連れてゆっくり散歩するにも良い場所です。李舜臣上映館では、壬辰倭乱に関するさまざまな展示資料や鷺梁海戦をテーマにした3D映像を見ることができ、弓道や投壺など伝統遊びを楽しむこともできます。

一緒に訪れた場所

南海閣(ナムヘガク)



南海大橋(ナムヘデギョ)を訪れる観光客を迎える休憩・宿泊施設として1975年にオープンしました。かつては地元の人気スポットでしたが、長年の放置期間を経て最近再オープンを果たしました。2021年、南海の過去と現在に敬意を払いつつ、新しい未来を模索する文化空間として営業が始まりました。

7

「母なる道」南海パレ道231km(本線16コース、支線3コース)

南海(ナムヘ)パレ道



約500年前から「花畑」という別名で呼ばれていた美しい宝島、南海。自然環境に恵まれた南海の島を歩く道が「南海パレ道」です。2010年に開通した南海パレ道は、開通10周年を迎えた2020年に「南海パレ道2.0」としてリニューアルされました。南海パレ道2.0は、南海郡(ナムヘグン)の10の邑・面を経由する231km(本線16コース、支線3コース)の中・長距離遊歩道として路線とコースが追加されたほか、既存の路線とロゴの変更、案内・運営システムの高度化などが行われました。

「パレ」とは、南海に暮らす母たちが家族の食材を手に入れるために引き潮に合わせて干潟に出向き、アオノリや貝類、ワカメなど海の幸を採取する作業を指す地元の言葉です。

一緒に訪れた場所

櫻岡(エンガン)タスプ村



櫻岡湾は、南海(ナムヘ)の2つの湾のうち南に開いている湾で、可愛い発音の「エンガン」という地名は、その形が横に倒れている壺に似ていることから名付けられたとも、川のように静かな海の音がコウライウグイスの鳴き声に似ていることから名付けられたとも言われています。宝石のような森と青い海が出会う宝物のような村。特に、薪田(シンジヨン)森野花観光団地は、きれいな自然環境と風光明媚な景観が観光客を惹きつけています。

8

海の上を歩く！

雪里(ソルリ)スカイウォーク



最近オープンした話題の展望台で、雪里海水浴場の裏手の丘に設置されている巨大な施設です。その大きさは遠く離れた尚州(サンジュ)からも見えるほどの規模です。「空ブランコ」とも呼ばれているスカイウォークブランコは高さ38mで、世界的に有名なリゾート地であるインドネシア・バリ島の名物「バリスウィング」をモチーフにしたものです。空に届きそうで海に落ちそうな、最強のスリルを味わうことができます。夜になるとスカイウォーク全体がライトアップされ、展望台のどこからでも素敵な日没の写真を撮ることができます。人気ドラマ『女神降臨』のロケ地としても有名です。

一緒に訪れた場所

勿弥(ムルミ)海岸展望台



韓国の最南端、南海(ナムヘ)を美しく照らす灯台をモチーフにした建築物で、展望台の内部からは超豪華クルーズ船から眺めているような360度のパノラマ展望を楽しむことができます。ガラス張りの「空の道」を歩いたり、絶壁の上から風光明媚な南海の海を一望することができます。

9

人生に残る一枚を撮る。

ソミ庭園



南海(ナムヘ)の美しい棚田のタランイ田に木や花を植えて造った欧州風の庭園が楽しめる樹木園です。ここの石垣や池、花、草木を眺めていると、まるでフランスの小さな村に来ているような雰囲気を楽しむことができます。段々畑の段ごとに異なる景色が広がり、南海の青い海原が見渡せるここは、自分だけの場所にしたいほど魅力あふれるところです。9カ所の小さな庭園が部屋のように分かれていて、各部屋はそれぞれの個性を保ちながらも、互いに調和して普段とは異なる情景を醸し出したりもします。四季折々の花が咲く小径は、美しさがあふれています。カメラのレンズをどこに向けても、人生に残る一枚を撮ることができるはずです。

一緒に訪れた場所

トピアランド



韓国初で唯一のトピアリー庭園「トピアランド」は、木でさまざまな形を自在に表現し、眺めているだけで癒される緑の森です。トピアランド(topia land)の「topia」とは、ラテン語で「風景画」、「園芸」、「ガーデニング」を意味する言葉です。

10

石倉庫、レトロに生まれ変わる。

石倉庫(トルチャンコ)プロジェクト



穀物や肥料を保管する頑丈な倉庫が欲しくても、島であるがゆえにセメントと鉄筋の調達が難しかった南海(ナムヘ)では、村の人々が力を合わせて石材を運び、その石材で建てた倉庫に村の穀物と肥料を保管していました。これが石倉庫の始まりです。しかし、時間の経過とともに石倉庫はその役目を終えて放置されていきました。そして2016年、新たな動きが始まります。石倉庫は変化を選択し、生まれ変わったのです。石倉庫プロジェクトを通じて新たな文化空間として再オープンを果たした石倉庫は、観光客に新たな思い出を届けています。

一緒に訪れた場所

獐項(チャンハン)森



獐項海辺に位置し、森の道、海、食、憩いの場、写真スポットなどが満載の話題の観光スポットです。見た目の派手さはないものの、新しいスポットとして注目を集めています。多彩な魅力を誇るカフェやお店が次々とオープンし、観光客の口コミで人気を博しています。

その他の観光スポット



南海勿巾里(ナムヘ・ムルゴンリ)防潮魚付林

約2千本の木からなる緑豊かな防風林が見事な三日月の形を描いて森と調和しているモンドル海辺は、南海ならではの趣を醸し出しています。防潮魚付林は高潮を防止し、魚をおびき寄せる役割を果たしています。



南海只族海峽竹防簾(ナムヘ・ジジヨクヘヒョプ・チュクパンニョム)

V字に広げた竹の簾を潮流と反対の方向に設置する原始的な漁の形態である竹防簾は、時速13kmという南海の速い流速を利用して魚を捕獲する方法です。竹防簾で捕獲されたカタクチイワシは自然そのものの鮮度を保っていて、最高級品とされています。



エリムマリーナ&リゾート

韓国初のマリーナ&リゾートとなるエリムマリーナ&リゾートは、複合休養空間として2020年にオープンしました。ヨット体験や地中海料理を楽しむことができるほか、コンサートホール、バイク展示場なども備えています。美しい南海(ナムヘ)の海を眺めながら、ロマンチックでゆったりとしたひとときを過ごすことができます。



ミュージアム南海(ナムヘ)&東昌善(トンチャンソン)アートステイ

廃校をリニューアルしてオープンしたミュージアムで、訪問客には休養と芸術鑑賞の機会を、新進アーティストには展示の機会を提供する施設として運営される予定です。1階には有料の展示スペースと多目的スペース(カフェ)が、2階にはアーティストの創作室や美術図書館などがあります。屋外ではキャンプ場や子供向けのプールが運営されています。



南海流配(ナムヘ・ユベ)文学館

韓国初で最大規模の流刑をテーマにした文学館で、流刑や流刑文学に関する情報を学ぶことができます。朝鮮時代の流刑地だった南海の文化や歴史に関する資料が展示されています。テーマ展示館では、流刑文学に関する理解を深める体験展示や学習プログラムなどが行われています。



宝島(ポムルスム)乗馬ランド

朝鮮時代に島の全域にわたって牧場が設けられていた昌善島(チャンソンド)にある乗馬施設です。普段なかなか見られない馬と触れ合い、さまざまな体験を楽しむことができます。専門教官の指導と引率のもと、馬と一つになって円形の馬場を回る乗馬体験や餌やり体験を安全に楽しむことができます。



南海(ナムヘ)伝統市場

きれいな海で獲れたカタクチイワシやアワビ、大正海老、脂の乗った太刀魚や、南海の冷たい海風を浴びて育った南海ニンニクや南海ホウレンソウ、昌善(チャンソン)ワラビ、南海の特産品である南海柚子や宝島(ポムルスム)韓牛に至るまで、豊富な品揃えを誇る市場です。新鮮な刺身をテイクアウトできるほか、市場の奥にはグルメ通りがあり、さまざまなグルメを味わうことができます。南海邑(ナムヘウブ)の中心部に位置しています。



龍門寺(ヨンムンサ)テンプルステイ

標高650mの虎丘山(ホグサン)の麓に佇む、南海(ナムヘ)最古で最大規模の寺院で、多くの文化財を保有しています。心身の疲れを感じている人々を対象に、休息型のテンプルステイプログラムを運営しています。



ピッタム村

静かで落ち着いた雰囲気が漂うこの村は、南海郡(ナムヘグン)が2011年に南面(ナムミョン)仙区里(ソングリ)の項村(ハンチョンマウル)に造ったペンション団地です。ピッタム村は「光を込めた村」という名の通り、美しい日差しが降り注ぐ丘に佇んでいます。色とりどりの建物と紺碧の海、道に沿って咲いている花がエキゾチックな景色を醸し出し、まるで地中海にきたような気分を味わうことができます。



沙村(サチョン)海水浴場

人でごった返す場所より静かな場所でバステルーンの夕空を眺めながら、ゆったりとした時間を過ごしたいロマンチックなカップルに人気のある場所です。最近、「車中泊」に最適な海水浴場としても人気を集めています。また、海水浴場が見渡せる場所に、約20区画のテント設営エリアが設けられている松林(ソンニム)キャンプ場があります。



昌善丹項(チャンソン・ダンハン)のタブノキ

昌善・三千浦大橋(チャンソン・サムチョンポデギョ)から丹項に向かって海辺を走っていると、視線を惹きつけるものがあります。推定樹齢500年のタブノキがそれで、遠くから見るとまるで小さな丘のように見えるほど威風堂々としていて、大自然の力をまざまざと見せつけられる気分になります。『星の王子さま』にバオバブがあるなら、ここ南海(ナムヘ)にはタブノキがあります。



ヘオルム芸術村

銀店(ウンジョム)海辺が見渡せる丘に位置するヘオルム芸術村では、学校をリニューアルして昔の思い出が詰まった展示スペース、さまざまな分野のテーマ展示が行われるギャラリー、アーティストの作業スペース、伝統文化体験工房、家族向けピクニックスペースなどを設けています。さまざまな体験プログラムも行われていて、楽しいピクニックのような一日を過ごすことができます。

南海(ナムヘ)の祭り



5月

宝島弥助港(ポムルスム・ミジヨハン)カタクチイワシ祭り

「南海(ナムヘ)のナポリ」と呼ばれている弥助港は、カタクチイワシをはじめさまざまな海産物が水揚げされる場所として有名です。この祭りは、カタクチイワシが一番美味しいとされる5月に開催されています。カタクチイワシの競売会、カタクチイワシの塩辛作りなどの体験を楽しむことができるほか、1日2回行われる漁師の「カタクチイワシふるい」の様子を観ることもできます。また、祭りの会場ではカタクチイワシを使った料理を味わうこともできます。



6月

宝島(ポムルスム)ニンニク&韓牛祭り

南海(ナムヘ)を代表する特産品であるニンニクと韓牛をテーマにした祭りです。海風を浴びて育ち、ピリッとした香りが特徴の南海ニンニクと、きれいな環境で丁寧に育てられた南海韓牛は、ヘルシーな食材として人気があります。



8月

尚州(サンジュ)ウンモレビーチサマーフェスティバル

年間を通して南海(ナムヘ)が一番盛り上がる期間に開かれます。南海を代表する海辺である尚州(サンジュ)ウンモレビーチで、ミュージックフェスティバル、EDMパーティー、松林チメク(フライドチキン&ビール)パーティー、海洋レジャー体験、海上ビーチシネマなど、さまざまなイベントが真夏の夜を彩ります。ヒップ&トレンド的な南海を満喫できる祭りです。



10月

ドイツ村ビール祭り

世界三大祭りの一つと言われているドイツ・ミュンヘンのオクトーバーフェスト(Oktoberfest)をモチーフに、2010年から始まった韓国最大規模のビール祭りです。ドイツの文化を体験し、本場のドイツビールとソーセージを楽しむことができます。地元の住民と観光客が一つになるお祭りです。

南海郡(ナムヘグン)観光文化財団



南海郡観光文化財団は、2021年4月に発足した基礎自治体初の観光を専門とする財団です。南海郡観光文化財団は、新しいスタンダード、新しい日常、新しい観光が求められるニューノーマル(New Normal)時代における南海観光のシンクタンクで、コントロールタワーです。「2022年南海郡訪問の年」を起点に、南海らしい観光ブランド戦略とマーケティングにより韓国を代表する観光地である南海の「リブランディング」を実施し、南海観光のルネサンス時代を切り開いていきます。

南海・麗水(ナムヘ・ヨス)海底トンネルの開通に合わせて韓国型の南海DMO(観光地域づくり法人)を構築し、嶺南(ヨンナム)地域と湖南(ホナム)地域をつなぐ南海岸観光のハブを目指します。

島そのものがお庭のように美しい南海を日常の「休止符」となる安全な観光地に育成し、癒しのあるウェルネス南海観光を発信していきます。

持続可能な観光を実現する炭素ゼロの「グリーンランド」南海、アクティビティや韓国の中でヨーロッパを楽しむことができる南海を創っていきます。南海が観光客の皆様をおもてなしします。

自分を見つけることができる特別な場所、南海

南海の南海らしさが好き。

南海の魅力に溶け込む。

南海を旅する。

今ここに、**愛**
南海#

